死滅の谷（1921）

DER MUDE TOD
THE WEARY DEATH
BETWEEN TWO WORLDS
DESTINY

メディア 映画
ジャンル ファンタジー
製作国 ドイツ
色彩 B&W
初公開日 1923/03
公開情報 劇場公開

【解説】

原題を“疲れ果てた死神”（もちろん人を殺すことにだ！）というこの作品。フランスでの題が“三本のロウソク”であったことからも分かる通り、日本の百物語に近い、ロウソクの炎のゆらめきに囲まれた闇の中で、主人公の娘が死神と対峙する場面が印象的な幻想映画である。夢の谷間で愛し合う男女の青年の方が突然死んでしまう。悲嘆に暮れた娘が死神に祈願すると、彼は三つの機会をくれる。即ち、ロウソク三人の消えゆく命のいずれでも長らえさせることができたら、彼女の恋人の命を蘇らせようと言うのだ。娘はいにしえのバクダッド、１７世紀のベネチア、やはり古代の中国に赴いて、それぞれの死を間近に控えた者たちを救おうとして結局叶わず、自殺をして天国で恋人と再会を果そうとする……。ラング終生のテーマである、抗い難い宿命に敗北を覚悟で闘う人間の姿が、デビュー間もない本作にもはっきりと示されている。ラングは「カリガリ博士」に現実的なプロローグとエピローグを付けるアイデアを出したことで知られるように、当時においても、他の純然たる表現主義者とは一線を画した存在だったが、この映画は間違いなく、その表現派を端的に象徴する一本であろう。夢のように美しい“夢”の映画。

【クレジット】

監督	フリッツ・ラング	Fritz Lang
脚本	フリッツ・ラング	Fritz Lang
	テア・フォン・ハルボウ	Thea von Harbou
出演	ベルンハルト・ゲッケ	
	リル・ダゴファー	Lil Dagover
	ヴァルター・ヤンセン	Walter Janssen
	ルドルフ・クライン＝ロッゲ	Rudolf Klein-Rogge
	ゲオルク・ヨーン	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.